

I 平成22年度試験研究課題

推進項目	中項目	小課題	課 題 名	期間	担 当	P
(1) 地域の特性に応じた森林づくり及びみどり環境の充実	ア 森林の多面的機能の発揮のための研究開発	地球環境及び国土を保全する森林管理技術の研究と開発	・酸性雨モニタリング(土壌・植生)調査	22-24	経営G	5
			・樹木根系を利用した道路のり面の崩壊防止技術の開発	20-22	環境G, 機能G, 緑化G, 道南支場	38
			・造林未済地の把握技術および天然更新を利用した森林化技術の開発	21-23	経営G, 環境G	6
			・森林の気象災害リスク予測モデルの開発	21-23	環境G	40
			・大規模表層雪崩に対する森林による減勢効果の研究	22-24	環境G	41
			・森林吸収源インベントリ情報整備事業	18-22	環境G, 機能G, 保護G, 道南支場, 道東支場, 道北支場	42
		道民の生活環境を守る森林管理技術の研究と開発	・冬期交通網確保のための防雪林造成管理技術の改善	21-23	環境G	43
			・土地改変地における植栽木衰退の診断技術の高度化に向けた基礎研究	22-24	環境G, 機能G, 緑化G	44
			・土地改変地に造成された緑地公園(札幌市)に植栽する樹種の選定と今後の管理方法に関する基礎的研究	22	環境G, 機能G	45
			・森林レクリエーション空間における利用者数の把握と評価手法の検討	22-24	機能G	32
	イ 森林の生物多様性保全と健全性維持のための研究開発	生物多様性を確保する森林管理技術の研究と開発	・外来種ニセアカシアの管理技術の開発	20-22	環境G, 機能G	47
			・北海道生物多様性保全モニタリングに関する研究	20-22	経営G, 保護G	7
			・ヒグマとのあつれき回避のための研究	20-22	機能G, 環境G, 経営G, 道南支場	33
			・北海道産サケ野生集団の評価と流域生態系の動植物に及ぼす影響の解明	21-23	機能G	35
			・クマガラの採餌環境管理手法の開発と簡易センサス手法の検討	20-22	保護G	22
			・森林の生物多様性保全のための立枯れ木管理方法の開発	22-24	保護G	24
			・溪畔域における溶存有機物(C,N)の動態モニタリング	22-26	機能G	36
			・生態系管理のためのエゾシカによる自然植生への影響把握と評価手法の確立	21-23	保護G	25
		・森が支える養蜂業の実態評価と蜜源森林の管理の在り方に関する研究	22-23	環境G, 機能G	49	
		森林・樹木の健全性を維持する研究と技術開発	・地域特性に応じた森林獣害対策の確立	20-22	保護G	26
	・北海道の外来・在来樹木昆虫の地球温暖化に伴う拡大予測に関する基礎研究		20-22	道東支場	60	
・ハイリスク港指定解除に向けたマイマイガ密度管理手法の開発	20-22		道東支場, 保護G	62		
ウ 身近なみどり環境の充実のための研究開発	北海道の風土に適した緑化樹等の新品种や生産技術の研究と開発	・芳香成分を有する樹木の機能性評価および効率的な苗木生産技術の開発	21-25	緑化G, 機能G	50	
		・改質木材を利用した育苗培土の開発	20-22	緑化G	51	
	北国の環境に適した緑化技術や維持管理技術の研究と開発	・街路樹景観の造成・管理手法の体系化	22-24	緑化G	53	
		・石炭露天掘り跡地における樹林化技術の確立	20-24	緑化G	54	
		・ササを活用した緑化工法の開発	21-22	緑化G	55	
		・生分解ポット苗植栽による吹付け施工斜面緑化技術の改善	22	機能G, 緑化G	37	
		・共振測定装置(RMD)を用いた樹木非破壊腐朽診断の実用化のための基礎的研究	22-23	緑化G	57	
		・造成跡地における海浜植物の保全回復手法の開発	22-23	緑化G	58	

推進項目	中項目	小課題	課 題 名	期間	担 当	P
(2) 林業の健全な発展及び森林資源の循環利用の推進	ア 林業の持続的な発展のための研究開発	森林資源の充実を図る育林技術の研究と開発	・地球温暖化と生産構造の変化に対応できる北海道農林業の構築	21-25	研究参事, 経営G, 環境G, 道北支場, 道東支場	30
			・「新たな住まい」と森林資源循環による持続可能な地域の形成	22-26	研究参事, 経営G, 保護G, 環境G	31
			・アオダモ植栽実績の把握と植栽技術の改善	21-22	道東支場	64
			・コスト低減に配慮したブナ林の再生技術の高度化	21-23	道南支場	59
			・人工林における針葉樹天然更新技術の提案	22-25	道東支場, 経営G	66
			・広葉樹林化のための更新予測および誘導技術の開発	19-23	経営G, 保護G, 機能G, 環境G, 道南支場	9
			・北海道固有の森林再生を目指したエゾマツの早出し健全苗生産システムの開発	22-25	道北支場, 経営G	67
	森林施業の低コスト化と森林資源の高度利用を図る技術の研究と開発	・カラマツ伐期延長促進事業	21-22	経営G	10	
		・木質燃料ボイラーへの安定供給に向けた林地残材供給可能量の試算	22	経営G, 環境G	12	
		・カラマツ類を用いた短伐期・低コスト林業システムの開発	21-25	経営G	14	
		・道内カラマツ資源の循環利用促進のための林業システムの開発	19-22	経営G, 道北支場, 道東支場	15	
		・高性能林業機械を活用した風倒被害木処理システムの開発	20-22	森林資源部, 環境G	3	
		・低コスト育林高度化事業	20-22	経営G	17	
		・先進林業機械の導入・改良事業のための実証試験	22	経営G	19	
	新たな品種開発に向けた林木育種技術の研究と高度化	・ポスト・クリーンラーチ時代に向けたグイマツ育種材料の拡充	22-24	経営G	20	
		・カラマツ類の効率的な着花促進方法の検討	22-26	道北支場, 経営G	68	
		・森林及び林業分野における温暖化緩和技術の開発	22-26	経営G, 道東支場, 道北支場	21	